

EMC試験では、何度もサイトへ行って試験をしたり、放射源を探すのに時間がかかったり、試験結果の再現性がなかったりと、製品開発時には悩みの種になっているのが実状です。サイトへ行く前のある程度の評価ができれば、丸腰で試験に挑むより対策や試験時間の短縮につながる可能性もあります。スペクトラムアナライザGSP-9330のEMCプリテストモードは、近傍界プローブGKT-008の組み合わせで製品開発段階の早期段階からEMCの事前試験がEMCボタンを押すだけで面倒な設定なしに簡単に出来ます。

● テストイメージ Test Image

EMC プリテストを ON にしてメニューを選択

GKT-008 以外にも様々なプローブや LISN 測定にも使用できる設定です。

測定範囲の選択
規格値の呼出
水平軸の設定

EMI プリテスト：放射・伝導ノイズ測定
GKT-008 以外にも様々なプローブや LISN にも使用できる設定です。

ANT-04/05 用メニュー

放射ノイズ測定：30MHz ~ 3GHz

PR-01 用メニュー

伝導ノイズ測定：150MHz ~ 30MHz

電源の電圧雑音端子測定

⚠必ず必要です。

別売：
トランジェントリミッタ
GPL-5010

SMA-BNC アダプタ
BA061

← Log/Lin スケール表示を選択可能

ANT-04/05 用簡易 EMS メニュー

簡易 EMS：100kHz ~ 3.25GHz

EMS 機能は、フィールドセンサ ANT/04/05 を使用し DUT のイミュニティ (妨害感受性) の簡易テスト※が可能。信号強度、周波数掃スweep範囲の設定が可能です。

⚠ ※この機能を使用するには、トラッキングジェネレータが必要です。
※トラッキングジェネレータの出力信号は、連続波です。変調等はできません。

GSP-9330VT/VGT
トラッキングジェネレータ
付き

PR-02 用メニュー

放射ノイズ測定：30MHz ~ 3GHz

ピンポイントで放射ノイズ対策効果確認に

基板パターン、放熱器、グランドプレーンやコネクタ、I/O 端子などを直接コンタクトして放射帯域ノイズを測定します。

コネクタ、I/O 端子

別売：
DCブロック
ADB-008

ANT-04/05 用簡易 EMS メニュー

簡易 EMS：100kHz ~ 3.25GHz

EMS 機能は、フィールドセンサ ANT/04/05 を使用し DUT のイミュニティ (妨害感受性) の簡易テスト※が可能。信号強度、周波数掃スweep範囲の設定が可能です。

⚠ ※この機能を使用するには、トラッキングジェネレータが必要です。
※トラッキングジェネレータの出力信号は、連続波です。変調等はできません。

GSP-9330VT/VGT
トラッキングジェネレータ
付き

● システム構成例

System example

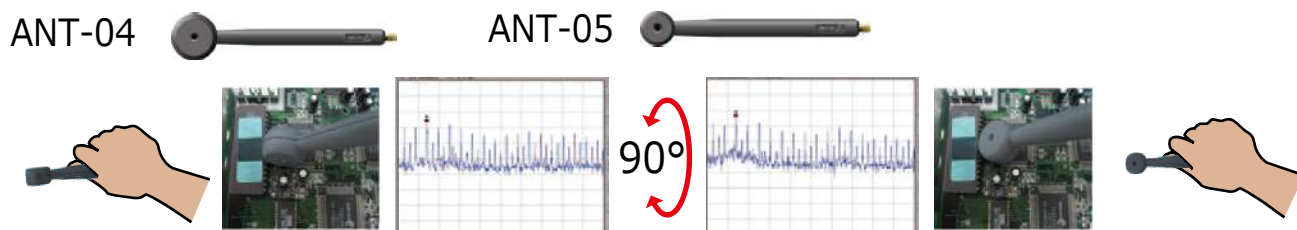
テストセット例	テスト内容	システム構成
EMI プリテストセット	放射ノイズ	スペクトラムアナライザ : GSP-9330 近傍界プローブセット : GKT-008 DCブロック : ADB-008
EMC プリテストセット	伝導・放射ノイズ 簡易 EMS	トラッキングジェネレータ付スペクトラムアナライザ : GSP-9330VT 近傍界プローブセット : GKT-008 トランジェントリミッタ : GPL-5010 DCブロック : ADB-008 BNC-SMA 変換アダプタ : BA061

● 特長

Feature

✓ 開発初期のノイズ探索の効率アップや対策効果の確認時間の短縮に有効

- 近傍界プローブ ANT-04/05 は、小型・高感度で実際の放射線源の探索が効率的にできます。
- 一般的な近傍界プローブのように電界 / 磁界を別々のプローブで測定する必要がなく EM（電磁波）波のエネルギーを直接検出します。
- ANT-04/05 は、一般的な磁界プローブのように、測定角度（向き）の問題について配慮する必要がありません。



✓ ピンポイント測定で対策前後の効果測定に有効

- ソースコンタクトプローブ PR-02 は、直接接触して PCB パターン、IC ピン、I/O 端子、グランドパターンなどの放射ノイズを測定します。



✓ 被測定物の AC 電源からの電圧ノイズを簡単に測定できます。

- AC 電圧プローブ PR-01 は、電源端子の端子電圧ノイズ測定（150kHz ~ 30MHz）に使用します。

